

農業総合センターの概要と 令和5年度の事業実績



令和6年7月3日
福島県農業総合センター



専門研究所・地域研究所の配置

果樹研究所



果樹の新品種育成や栽培技術、病虫害防除技術の試験研究を進めます。

畜産研究所



乳牛、肉牛、豚、鶏の改良や飼育技術、飼料作物の生産、調製技術及び環境保全技術の試験研究を進めます。

会津地域研究所



会津地域の研究拠点として、適品種の選定、特産農産物の栽培技術を進めます。また種子の生産を行います。

畜産研究所沼尻分場



高冷地における肉用牛飼養技術や放牧地・牧草地管理技術の試験研究を進めています。

農業短期大学校



次代を担う先進的な農業者を養成するとともに、農業者等の研修を行います。

浜地域農業再生研究センター



浜通りの避難地域等の営農再開・農業再生を行うために、平成28年3月に開設しました。現地実証研究を行い、農業者の営農再開を支援します。

浜地域研究所



浜通りの研究拠点として、やませ気象、冬期多照下での基幹作物や周年施設や周年作物の技術開発を進めます。



5つの機能が連動する福島県の農業振興の拠点

平成18年に開設

県民との交流・
情報発信機能

- センターまつりなどの交流
- 視察受入れ、施設の利用促進
- 技術情報等の広報

地域農業支援
機能

- 技術移転セミナー・技術指導
- 技術情報の提供と相談
- 種苗等の生産・供給

食の安全・環境に
やさしい
農業支援機能

- 農薬・肥料等の適正使用等
- 植物防疫、病虫害発生予察
- 放射線モニタリング
- 有機農業の推進

技術開発・
企画調整機能

- 7つのテーマと
9件の大課題
(中課題37件、
小課題130件)

先進的農業者育成・
支援機能

- 農業短期大学校における
・実践的教育、就農者の育成
・農業者のレベルに応じた研修

技術開発・企画調整機能

令和5年度の試験研究成果の公表数

普及に移しうる成果	19
参考となる成果	56
放射線関連支援技術情報	5
営農再開支援技術情報	21

地域農業支援機能

1 技術移転セミナー

地域の状況に適した成果を生産者や関係機関等に提供するため、意見交換を各地で8回開催した。

2 成果発表会

試験研究の成果をいち早く生産者や関係機関等に提供するため、各地方で5回開催した。

3 鳥獣害防止対策の技術支援

会議や研修会等において、成果の情報提供や技術指導を30回支援した。

4 農業技術相談

農業に係る技術相談786件に対応した。

5 種苗等の生産・管理

水稲・麦・大豆やオリジナル園芸品種の種苗等の生産、家畜の管理・生産を行った。
○水稲 原原種548kg、原種20,142kg ○アスパラガス 種子148,550粒
○イチゴ 原種苗237株 ○カラー 培養苗100個体 ○ブドウ 穂木59kg
○牛黒毛和種 種雄畜の繁養17頭 ○肉用牛 精液生産117,591本 など

先進的農業者育成・支援機能

農業短期大学校(アグリカレッジ福島)

1 農業経営部(令和5年度の学生数と卒業生の主な進路)

経営学科	水田	野菜	果樹	花き	畜産	計
1学年	10	16	13	8	12	59
2学年	13	15	6	2	9	45

卒業生の主な進路は、就農21名(親元6名、雇用15、研修0名)、農業協同組合2名、農業関連産業12名、ほか。

2 研修部(令和5年度の研修実績) ※この他に現地支援、施設利用研修など実施

- ◆ 就農研修 初級(春・秋コース)30名(春コース15名・秋コース15名)、中級15名
- ◆ 長期就農研修 農業短期大学校3名、果樹研究所7名
- ◆ 農産加工研修 3コース、9回、39名
- ◆ 農業機械研修 3コース、18回、128名

3 その他の特徴的な取組

- ◆ 福島大学食農学類との連携(本校教育に対する支援、福大生実習受入れ、学生交流)
- ◆ JA東西しらかわとの連携協定(地域農業発展、担い手の確保)
- ◆ JGAP認証 ※認証品目:米(玄米)、そば、小麦(新規)、トマト、きゅうり、ぶどう、かき
- ◆ 三重県農業大学校とのGAP交流(3年ぶり対面での交流、販売実習)
- ◆ 販売活動(大阪の米穀店で実演販売、福島空港、JR日暮里駅)

食の安全・環境にやさしい農業支援機能

1 農薬、肥料、飼料の適正な流通・販売等及び適正使用の推進

(1) 農薬の流通・販売と適正使用指導及び取締

農薬販売者立入検査(243件) 農薬適正使用指導(368名) 等

(2) 肥料・飼料の生産、流通・販売の指導

肥料生産・販売事業者立入検査(84件)

飼料製造・販売事業者立入検査(54件) 等

2 植物防疫及び病害虫発生予察事業

発生予察情報の提供(15回)

病害虫の診断同定 (48件) 等

3 農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング

令和5年度モニタリング検査数(出荷確認検査) 494品目、9,306件

4 有機JAS認証

令和4年度の認証ほ場面積 7,468a

(水田 5,598a 畑 1,704a その他 166a)

5 有機農業の推進

技術研修会等の開催(5回)

有機農業者組織の活動に対する支援(9回) 等

県民との交流・情報発信機能

1 農業総合センターまつり

センターを一般公開し、県民との食と農の絆づくりを進め、農業振興に寄与した。2, 138名が参加。

2 田んぼの学校

地元の小学生を対象に、米作りの体験学習を行った。6名の小学生を対象に4回実施。

3 交流エリアを活用した情報発信

交流棟では研究成果やセンターの取組を展示し、展示農園では水稻やブルーベリーを展示栽培し、展示母屋では小学生を対象とした農業学習コーナーを展示した。

4 視察受入れ

県内に限らず県外、国外まで広く視察見学者を受入れた。447件、のべ2, 265名を受入れ。

第16回
農業総合センターまつり
9月1日(金)・2日(土)
9:30~16:00 9:30~15:00

入場無料
参加費無料

ガラポン
抽選会も
やるよ

農業技術
セミナー
9月1日(金)
10時~10時30分
雑草イネ防除方法
11時~11時30分
トマトかいよう病
防除方法

センターツアー
有機農業セミナー(2土産付き
9月2日(土)14時~、児童とその保護者10組
※事前の申込が必要です(抽選)

クイズコーナー
米・大豆の産地当て、1日分に必要な野菜

家庭菜園セミナー
9月2日(土)各30分
○野菜 10時~
○土づくり 11時~
○花き 13時~

農業技術相談
研究成果展示
農産物販売
収穫体験
農機具・資材展示

昆虫標本展示
楽しい科学
体験コーナー
昆虫展示
9/2(土)のみ
シラスラソリ
9/30、12/30~
動物学習コーナー
キッチンカー

果樹研究所会場
9月8日(金)10時~15時
電話 024-542-4191
住所 福島市飯坂町平野字楯の末1

お問い合わせ先
福島県農業総合センター
電話 024-958-1700
住所 郡山市日和町高倉字下中道116

※天候、その他理由により、内容が変更・中止になることがあります。
©「福島県農業総合センター」は、農業の発展・向上に資することがあります。